

読譜の手順と方法

リズム、音名、階名それぞれ別の読み方で歌えるまで歌え！

練習では速く読む為の努力と同じ努力を遅く読む為の努力にも費やせ。時間の高密度化を獲得するのだ

- Step-1 「リズムを読む」 ◎リズムの間違い、リズムの中断は、音程のミスよりも致命的
- Step-2 「音名を読む」 ◎中断無しに楽曲の最後まで「音名を読む」
- Step-3 「階名を読む」 ◎演奏するときも必ず「音名」or「階名」を発音する

★Step-1「リズムを読む」

- ・拍との関係を保つ 拍単位でグループ化する〔メトロノームの使用と左足での拍打←必須〕
- ・隠れている拍を顕在化する 記述された音符に休符を重ね合わせてく〔道具としての休符を使う〕

ヨン ヨン ヨン ヨン ヨン ヨン ハチ ハチ サンコサンコジウロク ジウロク

左足は4分を刻み、頭ん中は常に16分でhatが鳴ってる。
5連符→イケブクロ、7連符→キタイケブクロ、11連符→セタガヤクシモキタザワー

★Step-2「音名を読む」

音名 pitch ドイツ語 c h b·ais a as·gis g ges·fis f e es·dis d des·cis c	階名と同じドレミでも可(日本人の得意なメタ言語的操作) 音名はドイツ語でも英語でもどつちやでも可	階名 Scale Tone コダーイ風 Do Ti Te·Ni Na Ne·Si So Se·Fi Fa Mi Me·Ri Re Ro·Di Do	Degree Name (Major) I VII b VII VI b VI V #IV IV III b III II b II I	chord tone & tension (interval) root M7th b7th 13th b13th 5h #11th 11th 3rd #9th 9th b9th root
---	---	---	--	--

ディグリーの内、bII, #IV, VIIの3つは、アクシスシステムのそれぞれ裏で、他の9個より遠くなるので登場回数は少ない。
tension を奇数で数えるのがコード主義、偶数で数えるのがモーダル主義。

★Step-3「階名を読む」

Di - Ro Ri - Me Fi - Se Si - Ne Ni - Te

Do Re Mi Fa So Na Ti Do

inC:

読み分けにくい R と L の共存をなくす為“La⇒Na”と変更した。あとは、トニックソルファ法やコダーイメソッドと同じ考え方。

Do Re Mi Fa So Na Ti Do Re Mi Fa Mi Re Do Ti

これができりゃ、五線譜なくても楽譜が書けるよーになる。